



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月12日

東

上場会社名 アーキテツ・スタジオ・ジャパン株式会社 上場取引所
 コード番号 6085 URL <http://www.asj-net.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 丸山 雄平
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理本部所管（氏名） 長尾 康三 (TEL) 06-6363-5701
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	955	△5.5	△32	—	△32	—	△28	—
27年3月期第3四半期	1,010	△15.4	12	△95.5	24	△90.4	7	△95.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第3四半期	△17.91		—					
27年3月期第3四半期	4.59		4.48					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年3月期第3四半期	1,634		1,381		84.5
27年3月期	1,791		1,403		78.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,381百万円 27年3月期 1,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,450	△0.1	15	△79.7	15	△83.5	△5	—	△3.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期3Q	1,581,000株	27年3月期	1,574,500株
28年3月期3Q	一株	27年3月期	一株
28年3月期3Q	1,575,912株	27年3月期3Q	1,528,094株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢などに改善がみられるなど、景気は緩やかな回復局面にありました。住宅業界におきましても、景気回復による雇用と所得環境の改善や、政府による住宅支援諸施策等により、新設住宅着工戸数は持ち直しの傾向にありました。

このような状況の下、当社は引き続き住宅市場における自社ブランドの浸透・認知度向上及び新規アカデミー会員獲得を目的として、WEB媒体を軸としたマーケティング施策を実施するとともに、獲得した会員へ直接働きかけるための各種営業支援を展開いたしました。また、本部による建設資材の集中購買や建設資材のパッケージ化による加盟建設会社の仕入コスト削減、2名の登録建築家からの同時提案「プランニングコースDUAL」を導入することで成約率の改善及び成約手番の短縮に取り組みました。これら需要喚起の施策には一定の成果を出したものの、新規スタジオ加盟契約等は伸び悩みました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は955,019千円(前年同四半期比5.5%減)、営業損失は32,064千円(前年同四半期営業利益12,312千円)、経常損失は32,002千円(前年同四半期経常利益24,697千円)、四半期純損失は28,231千円(前年同四半期純利益7,010千円)となりました。

なお、当社はA S J建築家ネットワーク事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は1,634,684千円となり、前事業年度末と比べて156,410千円減少いたしました。

流動資産は前事業年度末に比べ、155,272千円減少し、1,349,633千円となりました。これは主として現金及び預金の減少28,510千円、売掛金の減少113,217千円、未収入金の減少22,080千円等によるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ、1,138千円減少し、285,051千円となりました。これは主に建物の減少7,920千円、ソフトウェアの減少13,396千円、ソフトウェア仮勘定の増加20,690千円等によるものであります。

負債合計は252,955千円となり、前事業年度末と比べて134,679千円減少いたしました。

流動負債は前事業年度末に比べ、134,679千円減少し、252,955千円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の減少13,932千円、未払金の減少39,600千円、未払法人税等の減少39,355千円等によるものであります。

純資産は1,381,729千円となり、前事業年度末と比べて21,731千円減少いたしました。これは資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,250千円増加したこと、四半期純損失28,231千円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年11月6日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	941,780	913,270
売掛金	309,217	196,000
商品	4,771	4,774
未収入金	238,905	216,825
その他	62,613	70,545
貸倒引当金	△52,382	△51,781
流動資産合計	1,504,905	1,349,633
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	89,527	81,607
工具、器具及び備品(純額)	5,162	4,432
有形固定資産合計	94,689	86,040
無形固定資産		
ソフトウェア	49,794	36,398
ソフトウェア仮勘定	25,377	46,068
無形固定資産合計	75,171	82,466
投資その他の資産		
差入保証金	82,177	80,371
その他	51,001	51,848
貸倒引当金	△16,850	△15,675
投資その他の資産合計	116,328	116,544
固定資産合計	286,189	285,051
資産合計	1,791,095	1,634,684
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,591	19,042
1年内返済予定の長期借入金	16,892	2,960
未払金	199,767	160,167
未払法人税等	40,662	1,306
賞与引当金	3,998	1,884
工事完成保証損失引当金	25,000	—
その他	75,723	67,594
流動負債合計	387,635	252,955
負債合計	387,635	252,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	402,005	405,255
資本剰余金	400,935	404,185
利益剰余金	600,520	572,289
株主資本合計	1,403,460	1,381,729
純資産合計	1,403,460	1,381,729
負債純資産合計	1,791,095	1,634,684

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,010,790	955,019
売上原価	194,857	192,714
売上総利益	815,933	762,304
販売費及び一般管理費	803,621	794,369
営業利益又は営業損失(△)	12,312	△32,064
営業外収益		
受取利息	243	199
受取手数料	—	60
保険返戻金	12,562	—
その他	27	—
営業外収益合計	12,833	259
営業外費用		
支払利息	326	107
株式交付費	121	90
営業外費用合計	448	197
経常利益又は経常損失(△)	24,697	△32,002
特別利益		
主要株主株式短期売買利益返還益	—	6,720
特別利益合計	—	6,720
特別損失		
工事完成保証損失	12,120	—
特別損失合計	12,120	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	12,577	△25,281
法人税、住民税及び事業税	8,784	1,224
法人税等調整額	△3,217	1,724
法人税等合計	5,566	2,949
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,010	△28,231

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。